

第55回 先端医科学研究センター 市民講座

横浜市立大学 先端医科学研究センター（通称：せんたんけん）は、研究成果を少しでも早く診療の場や市民のみなさまに還元するための橋渡し研究を推進しています。

生殖細胞と再生医学： 生殖医療の未来？

12.21

金

内容はやや難しめになりますが、一般の方々にも理解しやすいよう工夫されています。企業で研究に従事されている方や、これから研究をしてみようと考えている若い方々の参加も歓迎です。

18:30～20:00（開場18:10）

試験管ベビーの誕生から40年、顕微授精法の開発から25年が経過しました。不妊に悩むカップルが増加し、日本で産まれる赤ちゃんの20人に1人は体外受精によると言われています。さらに、iPS細胞から生殖細胞を作り出す再生医学も進行しています。演者は、生殖細胞の研究に長年たずさわってきました。その中でマウスを用いて体外で精子を造ることに世界で初めて成功しました。それらの研究を紹介すると共に、未来の生殖再生医療について考えてみたいと思います。

講師

横浜市立大学学術院医学群
生命医科学研究科 教授

おがわ たけひこ
小川 毅彦



会場

ウィリング横浜

(京急・市営地下鉄「上大岡」駅 直結
ゆめおおおかオフィスタワー5階研修室)

主催：横浜市立大学 先端医科学研究センター

お申込み先 (申込受付：11月12日より開始)

定員100名(申込順)

TEL、FAXまたはE-mail、HPにてお申込下さい。定員になり次第締め切ります。

公立大学法人横浜市立大学 地域貢献センター

TEL: 045-787-8930

FAX: 045-701-4338

E-mail: exten@yokohama-cu.ac.jp

HP: <http://www.yokohama-cu.ac.jp/ext/med/index.html>

「先端医科学研究センター」とは

横浜市立大学先端医科学研究センターは、横浜市の中期政策プランに基づき、「がん」「生活習慣病」「免疫アレルギー疾患」などの疾患克服に向けて、平成18年に開設された大学直属の研究施設です。様々な病気の克服を目指した基礎研究と、その成果を少しでも早く診療の場や市民のみなさまに還元するための橋渡し研究、いわゆるトランスレーショナル研究を推進しています。

本市民講座では、最先端の研究をみなさまにわかりやすくご紹介します。

開催情報

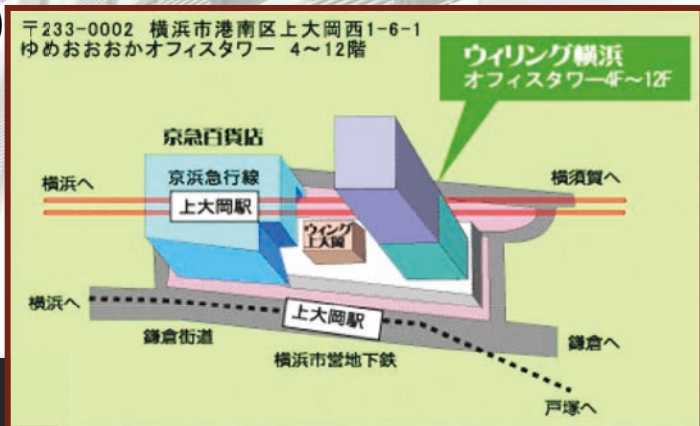
日時 平成30年12月21日（金）18:30～20:00（受付開始18:10）
講演は60分、10分間の休憩をはさみ、20分程度、受講者の方からの質問にお答えします。

会場 **ウィング横浜**

京急・市営地下鉄「上大岡」駅直結、ゆめおおおかオフィスタワー5階研修室

受付 平成30年11月12日（月）
より開始

募集 **定員100名**
申込順に受付、
定員に達し次第
締め切ります。



お申込みについて

- 電話、FAX及びE-Mailからお申込みの場合には、お名前、ご住所、電話番号を下記連絡先までお知らせ下さい。また、大学WEBサイトの申込フォームからお申し込みいただけます。
- 災害および交通機関ストライキが発生した場合には、講座開催を中止することがあります。講座開催中止の際には可能な限りご連絡いたします。ご不明の点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせ下さい。
- お申し込み後、やむをえず受講をキャンセルされる場合はお早めに下記までご連絡下さい。
- ご記入いただきました個人情報につきましては、条例に基づいて適切に取り扱い、講座の運営のためだけに使用させていただきます。また、本学から開催のご案内をさせていただくことがございます。今後のご案内送付をご希望でない場合は、お手数ですが下記までご連絡をお願いいたします。

お申込み先

公立大学法人横浜市立大学 地域貢献センター

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2

■TEL：045-787-8930 / FAX：045-701-4338

電話受付は月曜日～金曜日（土日・祝日を除く）9：30～16：30

■Eメール：exten@yokohama-cu.ac.jp

■ホームページ：<http://www.yokohama-cu.ac.jp/ext/med/index.html>